

2013年難民関連文献一覧

※日本語で執筆された文献のみを取り上げる。また、難民に関する全ての国内図書、雑誌を網羅しているわけではない。

【図書】

- 明石純一「現代日本における入国管理政策の課題と展望」吉原和男編著『現代における人の国際移動——アジアの中の日本』慶應義塾大学出版会、63～83頁
- アジア福祉教育財団『なんみんと日本(1)助けを求める難民の声に日本がとった行動は？』（冊子『愛』別冊）
- 市川政雄・筒井志保・森恭子ほか「在日難民の生活・医療・社会保障」松田ひとみ・大久保一郎・岩浅昌幸・柏木志保編『ヒューマン・セキュリティ——ヒューマン・ケアの視点から』医学評論社、53～64頁
- 伊東孝之監修／広瀬桂一・湯浅剛編『平和構築へのアプローチ——ユーラシア紛争研究の最前線』吉田書店
- 上村朋子・喜多悦子「難民保健から避難民援助へ」山本保博・鶴飼卓・杉本勝彦監修／災害人道医療支援会編『災害医学（改訂2版）』南山堂、400～413頁
- 荻野剛史『「ベトナム難民」の「定住化」プロセス——「ベトナム難民」と「重要な他者」とのかかわりに焦点化して』明石書店
- 小泉康一『国際強制移動とグローバル・ガバナンス＝Forced Migration and Global Governance』御茶ノ水書房
- 小松重夫『難民と市民の間で——ハンナ・アレント『人間の条件』を読み直す』現代書館
- 坂元茂樹・薬師寺公夫編『普遍的国際社会への法の挑戦——芹田健太郎先生古希記念』信山社
- 宗田勝也『誰もが難民になりうる時代に——福島とつながる京都発コミュニティラジオの問いかけ』現代企画室
- 滝沢三郎「難民と国内避難民の保護をめぐる潮流」日本国際連合学会編『「法の支配」と国際機構——その過去・現在・未来』国際書院
- 難民支援協会『海を渡った故郷の味＝Flavours Without Borders』
- 根本かおる『日本と出会った難民たち——生き抜くチカラ、支えるチカラ』英治出版
- 野田文隆「難民認定申請者（Asylum seekers）の生活とこころ」加賀美常美代編著『多文化共生論——多様性理解のためのヒントとレッスン』明石書店、199～220頁
- 人見泰弘「在日ビルマ系難民の移住過程」吉原和男編著『現代における人の国際移動——アジアの中の日本』慶應義塾大学出版会、247～259頁
- 山岡健次郎「難民移動の系譜学」伊豫谷登士翁編『移動という経験＝Experiences in Motion——日本における「移民」研究の課題』有信堂高文社、71～96頁
- 山田純大『命のビザを繋いだ男——小辻節三とユダヤ難民』NHK出版
- 山本達也『舞台の上の難民——チベット難民芸能集団の民族誌』法蔵館

【雑誌】

- 浅川聖「日本の『内』への難民政策の特徴——難民認定申請者に対する『管理』と『保護』を中心に」横浜国際経済法学会『横浜国際経済法学』21巻3号（池田龍彦教授・石渡哲教授退職記念号）、377～409頁
- アジア経済研究所「特集：亡命する政治指導者たち」日本貿易振興機構アジア経済研究所研究支援部『アジア研ワールド・トレンド』19巻2号、1～32頁
- 阿部吉雄「上海のユダヤ人難民社会の教区新聞の記事から（1939年）（上）」九州大学大学院言語文化研究院『言語科学』48号、49～61頁
- 阿部吉雄「上海のユダヤ人難民社会の教区新聞の記事から（1939年）（下）」九州大学大学院言語文化研究院『言語文化論究』31号、77～87頁。
- 石川美絵子「国内の動き：日本でも難民保護法の制定を！」（特集：欧州・国連におけるヘイトクライム規制の現状と日本）移住労働者と連帯する全国ネットワーク『Mネット』165号、16～17頁
- 移住労働者と連帯する全国ネットワーク「難民・収容——要請省庁：法務省、外務省、内閣官房」（特集：省庁交渉2012）移住労働者と連帯する全国ネットワーク『Mネット』157号、3～5頁
- 移住労働者と連帯する全国ネットワーク「特集：日本の難民制度——ここが問題」移住労働者と連帯する全国ネットワーク『Mネット』160号、3～13頁
- 円城由美子「国内避難民の動態から見たフセイン政権崩壊後のイラク——バグダードの住宅不足とスラムの拡大」大阪女学院大学『大阪女学院大学紀要』9号、1～22頁
- 円城由美子「フセイン政権崩壊後のイラクと国外避難民——『治安改善』がなぜ帰還を推進しないのか」立命館大学国際関係学

- 会『立命館国際関係論集』12号、21～40頁
- 大谷杏「インドシナ難民2世、3世が抱える学習問題と学校・地域の対応」早稲田大学大学院教育学研究科『早稲田大学大学院教育学研究科紀要：別冊』20巻2号、221～230頁
- 大橋毅・田鎖麻衣子・須田洋平ほか「国連拷問禁止委員会第2回日本政府報告書審査を踏まえて」日本弁護士連合会『自由と正義』64巻9号、62～71頁
- 岡本茉莉亜「日本における難民保護の課題と今後の展望——ノン・ルフールマン原則の慣習国際法化の動きを受けて」九州大学法政学会『学生法政論集』7号、33～50頁
- 小田川綾音「国籍・無国籍認定の現状と課題——改正入管法を踏まえて」（特集：「在留カード」導入と無国籍問題を考える）移民政策学会編集委員会『移民政策研究』5号、22～33頁
- 川喜田敦子「難民入植地の遮断された記憶——第二次世界大戦後の東欧からのドイツ系移住者と「暴力」の記憶」（特集：強制移住の後で——独仏における国民再編と記憶）東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ドイツ・ヨーロッパ研究室『ヨーロッパ研究』12号、105～127頁
- 川村真理「国連難民高等弁務官事務所の国際的保護機能の変容」杏林大学社会科学学会『杏林社会科学研究』29巻3号、57～80頁
- 北澤義之「東アラブ地域パレスチナ難民の現状と課題」京都産業大学『京都産業大学世界問題研究所紀要』28号、37～56頁、2013年2月
- 小泉康一「転機に立つ難民定住制度（下）変質する“負担分担”の概念の中で」大東文化大学『大東文化大学紀要：社会科学』51号、250～232頁
- 小泉尚之「亡命チベット人社会の構造——インド北部ダラムサラを事例に」茨城地理学会『茨城地理』14号、1～16頁
- 河野建一「ボスニアで結実した『人間の安全保障』の復興支援——現地密着の手法が難民と住民の心を開いた」長崎県立大学『研究紀要』13号、61～75号
- 小松由美「第三国定住での難民受け入れと定住支援としての研修についての一考察」東京外国語大学留学生日本語教育センター『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』39号、105～112頁
- 佐藤以久子「判例紹介：イタリア・リビア間の公海での追返しに対するノン・ルフールマン：Hirsi Jamaa and Others対イタリア [ヨーロッパ人権裁判所大法廷2012.2.23判決]」国際人権法学会『国際人権』24号、144～146頁
- 佐藤麻理絵「現代中東における難民研究の新地平——イラク人難民の事例から」京都大学イスラーム地域研究センター『イスラーム世界研究』6巻、293～304頁
- 定金史朗「難民認定に関する法律援助」（特集1：法律援助事業——国費・公費化に向けた3年間とその到達点——法律援助事業の実践的活用例）日本弁護士連合会『自由と正義』64巻10号、12～14頁
- 佐原彩子「日本における『インドシナ難民』概念の問題点」日本移民学会『移民研究年報』19号、51～67頁
- 杉田弘也「『タフで人道的な』対策を模索するオーストラリアのポート・ピープル政策——オーストラリア多文化主義の「ドリアン・ 그레이の肖像」」神奈川大学経営学部『神奈川大学国際経営論集』46号、1～22頁
- 鈴木慶孝「現代トルコにおけるクルド市民への社会的排除に関する一考察——国内避難民問題に関する報告書を中心として」慶應義塾大学大学院法学研究科内「法学政治学論究」刊行会『法学政治学論究：法律・政治・社会』99号、199～229頁
- 陳天璽「日本における無国籍者の類型」（特集：「在留カード」導入と無国籍問題を考える）移民政策学会編集委員会『移民政策研究』5号、4～21頁
- 中川康弘「多文化共生社会の構築に向けた外国人の関わりに関する一考察——ある一人のベトナム難民2世の語りから」首都大学東京人文科学科教育学研究室『教育科学研究』27号、11～17頁
- 野口有佑美「OAU難民条約における難民の定義の機能と課題」慶應義塾大学法学部内法学研究会『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』53号、221～274頁
- 長谷部美佳・王岩「アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住——滞日中国人家族とベトナム難民家族における移民女性の事例」アジア女性交流・研究フォーラム『アジア女性研究』22号、38～48頁
- 付月「無国籍条約加入の意義と日本の課題」（特集：「在留カード」導入と無国籍問題を考える）移民政策学会編集委員会『移民政策研究』5号、34～50頁
- 松沼美穂「脱植民地化と国民の境界——アルジェリアからの引揚者に対するフランスの受け入れ政策」（特集：強制移住の後で——独仏における国民再編と記憶）東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ドイツ・ヨーロッパ研究室『ヨーロッパ研究』12号、129～141頁
- 三浦純子「日本における難民の受け入れと社会統合——タイ難民キャンプからのカレン族を事例に」立命館大学国際平和ミュージアム『立命館平和研究：立命館大学国際平和ミュージアム紀要』14号、49～55頁
- 村尾るみこ「Key Note：ザンビア西部に住むアンゴラ難民の生計戦略と今後のアフリカ研究と支援についての提言」日本農業土木総合研究所海外農業農村開発技術センター『ARDEC: world agriculture now』49号、20～25頁

村田奈々子「二重に疎外された人々—ギリシア・トルコ強制的住民交換とギリシア人難民」（2013年度歴史学研究会大会報告：近代史部会：移動をめぐる主体と「他者」—排除と連帯のはざままで）歴史学研究会『歴史学研究』911号（2013年増刊号）、107～116頁

森恭子「難民及び難民申請者と地域福祉—最近の事例からの検討」文教大学『生活科学研究』35号、151～161頁

渡邊彰悟「難民認定手続の実務について」山梨学院大学法科大学院『山梨学院ロー・ジャーナル』6号、51～83頁